

地域別実行計画の進捗状況について

地域別実行計画とは

- 昨年7月に策定された「新潟市財産経営推進計画」(公共施設等総合管理計画に該当)に基づく個別計画
- 中学校区を基本単位として、55地域で策定
- 学校の統合や主要な施設の更新など、公共施設の動きのある地域から、順次着手
- 地域全体の公共施設の将来のあり方を検討し、施設総量が削減されてもサービス機能をできるだけ維持
- 計画の策定にあたっては、市民との協働により進める

地域別の取り組み状況

1. 潟東地域

- 3小学校の統合を契機として、計画策定に着手
- 市の検討のステップ(下図上段)に合わせ、昨年8月から今年7月まで、市民ワークショップを全7回開催
- ワークショップは、コミ協・自治会関係者、地域活動団体、地域教育コーディネーター、公募委員などが参加
- ワークショップのほか、ニューズレター(広報紙)やオープンハウス(パネル展示型説明会)などにより、広く情報提供・意見収集を実施し、計画を策定(詳細は別紙)

<潟東地域実行計画の効果>

- 潟東体育館のコミセン化により、約1,100㎡の面積削減
- デイサービスセンターの民間移譲により、約1,300㎡の面積削減
- 学校を除く公共施設面積が、約12,500㎡から約10,000㎡となり、約2割の面積削減

2. 葛塚地域

- 北区役所の移転や、太田小学校の葛塚東小学校への編入統合を契機として、計画策定に着手
- 今年10月に第1回、11月に第2回のワークショップを開催し、来年度中を目途に計画を策定する予定

3. 曾野木地域

- 市営住宅跡地活用についてこれまで検討がされてきたことや、曾野木保育園・第二曾野木保育園について、老朽化による統合を検討するとされていることを契機として、計画策定に着手
- 今年10月に第1回、12月に第2回のワークショップを開催し、来年度中を目途に計画を策定する予定

その他の取り組み

<市民フォーラムの開催>

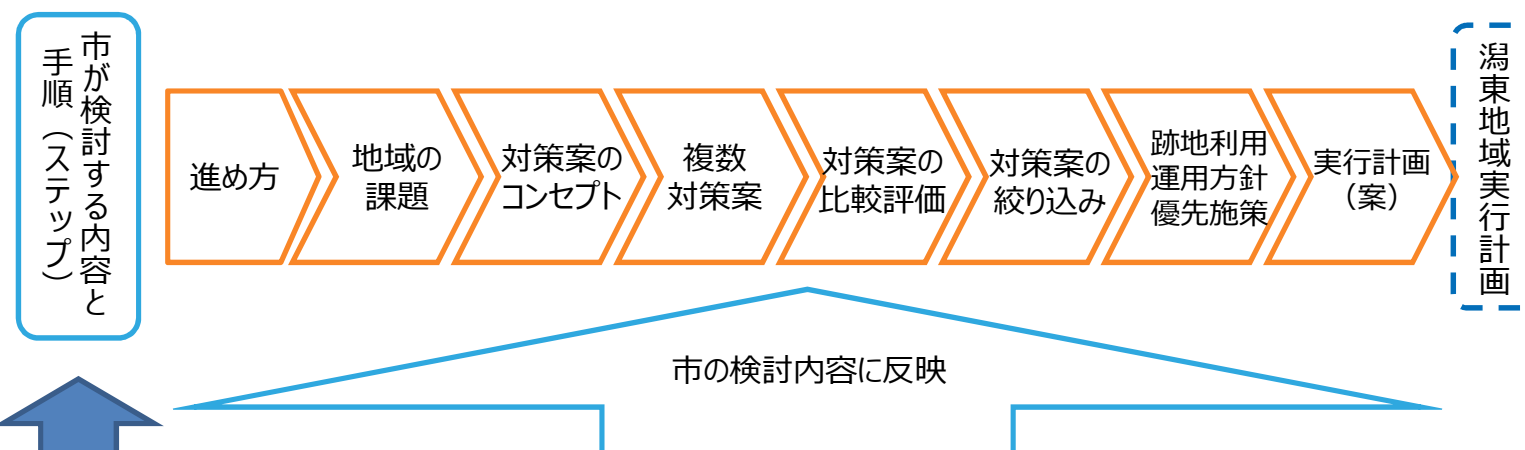
- 11月5日 東区プラザにて開催し、約150人参加
- 公共施設再編における住民参画の必要性や、廃校の活用事例を紹介
- 潟東地域ワークショップ参加者をパネリストに迎え、シンポジウムを開催



市民フォーラムの様子

潟東小学校の児童や、笛団五郎・花野古町も登壇しました。

写真や動画をおりまぜながらの進行が好評で、もう少し時間が長てもよかったという声もありました。



市が検討する内容と手順(ステップ)

潟東地域実行計画

市の検討内容に反映

ワークショップの様子

参加者はいくつかのグループに分かれ、ファシリテーターの進行により、自由に意見やアイデアを出し合いました。

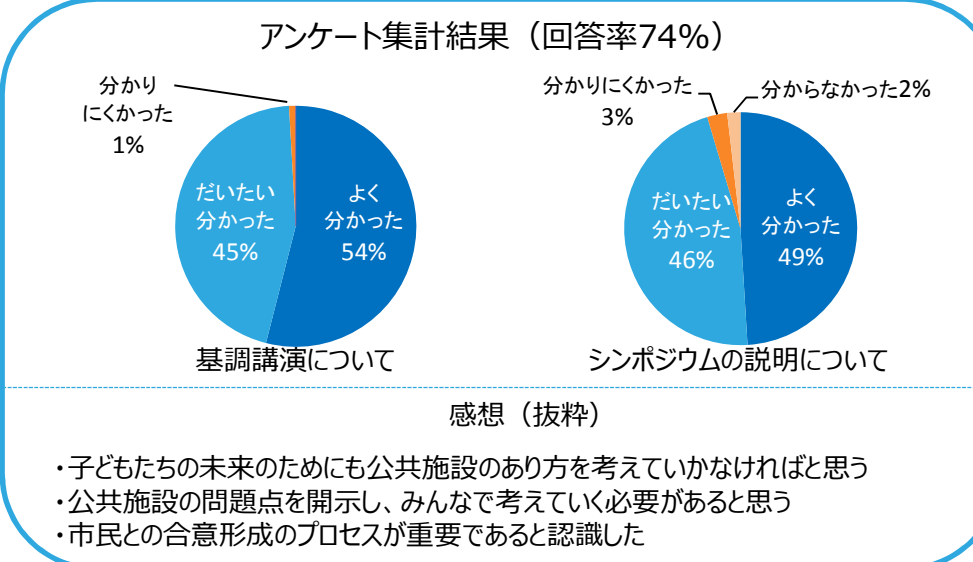
ニューズレター

全3回発行し、地域内に全戸配布しました。

オープンハウスの様子

第1回は潟東ゆう学館、第2回は潟東出張所で開催し、情報提供・意見聴取を行いました。

地域のみなさんのご意見を伺う場(コミュニケーション)



<コミュニティ協議会への説明>

- 各コミュニティ協議会などに説明の機会をいただくため、10月の各区自治協議会でお願いし、希望があった地域から順次説明を開始
- 主要施設の更新時期を10年以内に迎える地域から、優先的に進めていく
- 地域の希望があれば、前倒して計画策定に着手する